

Princes of Ballet

王子



photo: Kiyonori Hasegawa

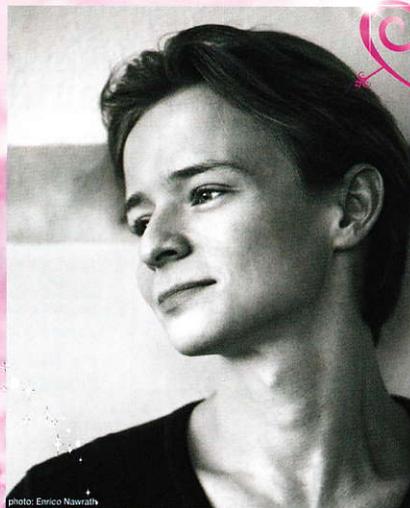


photo: Enrico Nawrala

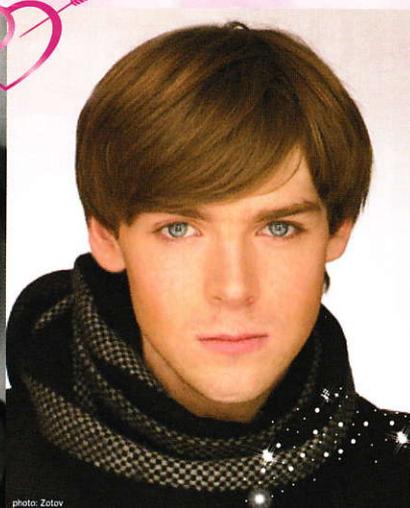
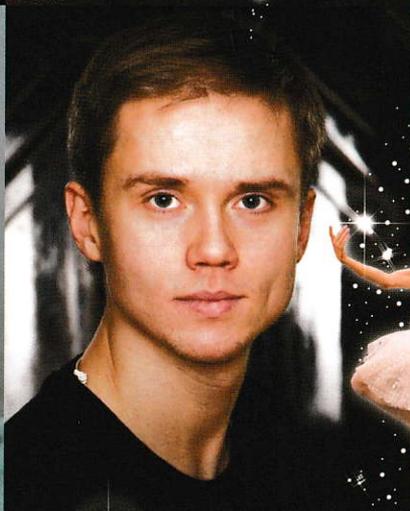


photo: Zotov



バ

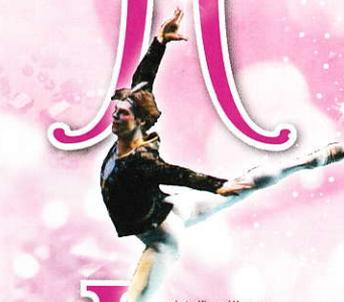


photo: Kiyonori Hasegawa

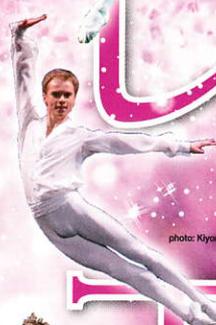


photo: Kiyonori Hasegawa



エ



photo: Kiyonori Hasegawa

さ ま



photo: Kiyonori Hasegawa

追加出演者・演目決定!!

演目は真面をご覧ください

話題の新鋭!

ダニエル・カマルゴ

Daniel Camargo
(シュツットガルト・バレエ団)

出演決定!

南米ボーイ特有の人なつこいスマイルと、のびやかな超絶技巧。
 昨年のシュツットガルト・バレエ団日本公演で話題をさらった
 あの新鋭カマルゴが、急遽、参加決定!
 「クラシックも踊れる幅の広いダンサーになりたい」と、
 来シーズンからオランダ国立バレエ団に移籍を決意。
 まますます目が離せないバレエ王子は、いま、見ておくべき!



photo: Roman Novitsky

■予定される王子さま

レオニード・サラファーノフ
Leonid Sarafanov
(ミハイロフスキー劇場バレエ)

ダニール・シムキン
Daniil Simkin
(アメリカン・バレエ・シアター)

ウラジーミル・シクリャロフ
Vladimir Shklyarov
(マリインスキー・バレエ)

エドワード・ワトソン
Edward Watson
(英国ロイヤル・バレエ団)

■予定されるお姫さま

サラ・ラム
Sarah Lamb
(英国ロイヤル・バレエ団)

マリア・コシェトコワ
Maria Kochetkova
(サンフランシスコ・バレエ)

共演: 東京バレエ団

7/15 (金) 7:00p.m.
 7/16 (土) 2:00p.m.
 7/17 (日) 2:00p.m.
 7/18 (月・祝) 2:00p.m.

※ 演奏は特別録音による音源を使用します。

会場: 文京シビックホール (大ホール)
 (都営地下鉄「春日」/ 東京メトロ「後樂園」直結)

主催: NBS 公益財団法人日本舞台芸術振興会 後援: 文京シビックホール 公益財団法人文京アカデミー

王子はじける凄ワザ演目、キター——！ これを見なければバレエファンの夏は終わらない！

7/15 (金)、7/16 (土)		7/17 (日)、7/18 (月・祝)	
オープニング			
ウェイン・マクレガー新作ソロ (世界初演)			
エドワード・ワトソン			
「同じ大きさ？」 (振付: ロマン・ノヴィツキー)			
レオニード・サラファーノフ、ダニール・シムキン、ダニエル・カマルゴ			
「バレエ101」 (振付: エリック・ゴートイエ)			
ウラジーミル・シクリャロフ			
「ファイヤーブリーザー」(日本初演) (振付: カタジェナ・コジルスカ)			
ダニエル・カマルゴ			
「マノン」より「沼地のパ・ド・ドゥ」 (振付: ケネス・マクミラン)		「チャイコフスキーパ・ド・ドゥ」 (振付: ジョージ・バランシン)	
エドワード・ワトソン、サラ・ラム		ダニール・シムキン、マリア・コチェトコフ	
「タンゴ」 (振付: ハンス・ファン・マーネン)		「ワン・オーバーチュア」(日本初演) (振付: ヨルマ・エロ)	
ウラジーミル・シクリャロフ		マリア・コチェトコフ	
「水に流して」 (振付: ベン・ファン・コーエンベルグ)		アラステア・マリOTT新作 (世界初演)	
サラ・ラム		エドワード・ワトソン	
「エチュード」 (振付: ハラルド・ランダー)			
ダニール・シムキン レオニード・サラファーノフ ウラジーミル・シクリャロフ マリア・コチェトコフ 東京バレエ団		レオニード・サラファーノフ ウラジーミル・シクリャロフ サラ・ラム 東京バレエ団	
フィナーレ			

※ 上記の演目は2016年6月10日現在の予定です。上演順ではありません。

入場料(税込み) S=¥16,000 A=¥14,000 B=¥12,000 C=¥9,000 D=売切れ

ペア割引券 [S, A, B 席] 2枚で1000円割引。

親子ペア券 [S, A, B 席] お子様(小学生~高校生)が半額 ※NBS(電話、WEBチケット)のみで発売。お席は選べません。

学生券 ¥3,000 ※NBS WEB チケットのみで6/17(金) 20時より発売。10~25歳までの学生が対象。公演当日、学生証を携行ください。

チケットご購入の前に必ずお読みください。

※記載の出演者と演目は2016年6月10日現在の予定です。出演者の都合、怪我、病気等で変更になる場合がございますので、ご了承の上、チケットをお求めください。出演者、演目変更にもなうチケットの払い戻し、公演日・券種の振替はいたしません。正式な出演者と演目は公演当日に発表いたします。※未就学児童のご入場はお断りします。

NBS 以外の 前売所
e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> (PC & 携帯)
チケットぴあ ☎ 0570-02-9999 (Pコード: 449-877) <http://pia.jp/t/> (PC & 携帯)
ローソンチケット <http://l-tike.com/> ☎ 0570-000-407 (10時~20時) (Lコード: 33202)
東京文化会館チケットサービス ☎ 03-5685-0650

チケットのお申し込み お問い合わせ
NBS WEB チケット <http://www.nbs.or.jp/>
※ご利用いただく際には、事前に会員登録(登録料・年会費は無料)が必要となります。
NBS チケットセンター
(平日10:00~18:00、土曜10:00~13:00) **TEL03-3791-8888**

「同じ大きさ？」



photo: Kiyonori Hasegawa

男性トリオがささいなことを競い合うような振付に独特のおかしみと愛らしさを感じさせる小品。シュツットガルト・バレエ団の現役プリンシパル、ロマン・ノヴィツキーが創作。2015年のカンパニー来日公演のガラでも上演され好評を博した。写真はシュツットガルト・バレエ団公演より。

「ファイヤーブリーザー」

大好評だった昨年のシュツットガルト・バレエ団のガラ公演の中でも、ひととき緊密な動きで親しい男女の間の力関係を、ときにパワフルにときにユーモラスにダンスで描いてみせた新進振付家カタジェナ・コジルスカ。この「ファイヤーブリーザー(火吹き)」は彼女がカマルゴのために創作したソロ。カマルゴのはちきれんばかりの若さと身体能力をぞんぶんに使ったダンスが期待される。

「マノン」“沼地のパ・ド・ドゥ”



photo: ROH/Bill Cooper

バレエファンに大人気の物語バレエ「マノン」。その「沼地」のバ・ド・ドゥといえば、恋人同士のマノンとデ・グリューの逃避行とマノンの死までを描く最終場の踊り。瀕死のマノンが、相手役によって木葉のように宙に投げられ空中回転する、という離れ業を3度も繰り返す超絶バ・ド・ドゥだ。これを初めて独立したコンサート演出目として踊ったのはシルヴィ・ギエム。その後、ルグリやマラーホフが続くものの、その後、全幕から切り離しての上演は認められていなかった。それが、「骨の髄からマクミラン・ダンサー」と評されるエドワード・ワトソンとサラ・ラムのために、このたび特別に許可が下りた。

「チャイコフスキー・パ・ド・ドゥ」



photo: Kiyonori Hasegawa

もともと「白鳥の湖」のために書かれたという優雅な音楽にのせて踊られる、華やかで洗練されたバランシンのバ・ド・ドゥ。スピード感と流麗さにあふれ、男女パートともに大技が満載とくれば、コンサート公演には欠かせない演目。シムキンとコチェトコフは日本初登場の2009年にこれを披露して喝采を浴びた。

「エチュード」



photo: Kiyonori Hasegawa

バーから始まるバレエのクラス(毎日のレッスンを模しながら、バレエのテクニックやスタイルとはどんなものかを45分たっぷり見せてくれる作品。チェルニーのピアノ練習曲にのせて、男性ソリスト2人と女性ソリスト1人を中心に大群舞をともなって踊られ、テクニックの見せ場が増える後半になると、加速度がついて盛り上がる。バリ・オペラ座バレエ団ほか世界中でレパートリーとなっている。

会場: **文京シビックホール(大ホール)**
(都営地下鉄「春日」/東京メトロ「後楽園」直結)

